

雪だるま、ミニ灯ろう作りin冬物語に参加！

開催日時：令和8年2月7日(土) 9時00分～18時30分まで

場 所：大手門広場

参加者：プロジェクトチームメンバー 10名、事務局 5名

奥越明成高校ボランティア部 7名(打合せ会議 生徒6名、顧問1名)

雪だるま、ミニ灯ろう作り一般参加者 約300名

【目的】

令和5年度に開催した「大野地区のまちづくりフォーラム」で市内の高校生に登壇いただき、まちづくりのアイデアをいただきました。その一つに「雪を活用したイベントの開催」についてのアイデアがあったことをきっかけに、また、多世代交流や賑わい創出による地域活性化をはかるため、地域住民、イベント参加者が一体となって冬物語会場内の大手門広場の飾り付けを行います。

【奥越明成高校の協力】

*奥越明成高校のボランティア部の皆さんには大手門広場のフォトスポットなどの飾り付けについて企画からお手伝いをいただきました。打合せ会議でアイデアを提出いただき、レイアウトを決定しました。

【当日の活動について】

- *高校生が提案した「雪うさぎ」などを制作しフォトスポット作りをしました。
- *一般参加者に雪だるまやミニ灯ろうの設置を促し、制作道具の貸し出しと制作の協力をしました。またチーム員もミニ灯ろうを設置するなど装飾を施しました。
- *暗くなる前、16時頃からミニ灯ろうや装飾へのろうそくやLEDキャンドルの点火、点灯作業を実施しました。

【結果概要】

- 装飾の提案をいただき打合せ会議を実施した奥越明成高校ボランティア部の生徒が校内でのインフルエンザ蔓延による部活停止のため参加できませんでした。
- 冬物語会場の賑わい創出の一躍を担い、想定より多くの来訪者が訪れ、雪だるまなどの装飾作りを楽しんでおられました。暗くなってからの光の光景もきれいで写真撮影する方も多数おられました。
- メンバーがこの企画に携わり、地域に貢献できたことは今後の地域づくりにも活かせるものと感じました。

冬物語への参画の様子



奥越明成高校ボランティア部との
打合せ会議の様子



フオトスポットの雪うさぎ等装飾



多くの一般参加がありました



ミニ雪だるま作りを楽しむ参加者



ミニ灯ろうや装飾へ点火



メンバーの皆さん